



第95話 根っこにあるもの



主人公の一ノ瀬なおさんは、現在地元の高校に通う16歳。そろそろ就職か進学か決める時期。JAに勤めている姉の話聞きながら、将来の自分を見つめます。JA事業の根っこにあるもの、それは……。今月は、今年度紹介した内容をおさらいした総集編です。



改めてJAが
組合員や利用者の
要望に応えようと
たくさんの職員が
動いてくれてるって
知ったよ



JAマニアまで
あと少しかなあ
なんてね!

一ノ瀬さん
この一年で
またJAに詳しく
なったよね

エッセン



人と人が助け合い
力を合わせる

相互扶助の
気持ち

暮らしに関わるみんなが
大切にしている
思いや願いを実現
そして困っている悩みや
課題を解決していく
協同組合なんだってね



なんとなく
わかってきた
気がするよ!

身近
だよね…

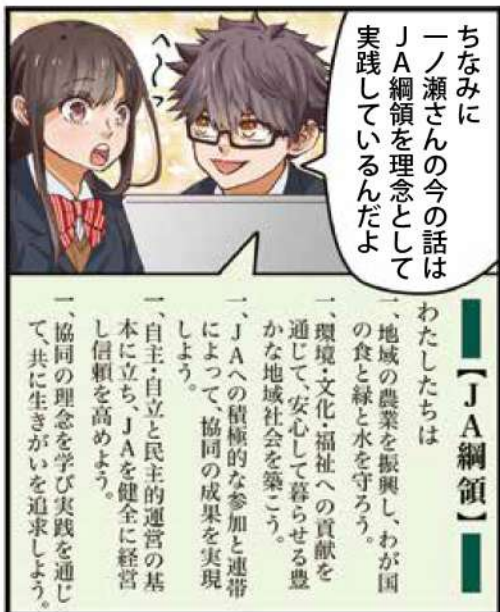


身近な協同組合だからね

あっ

人の営み
地域・社会の発展
農業の未来
他にもたくさん

助け合いの寄り添う気持ちが
根っこになっているから
ますます身近に感じるよね
JAってさ!



ちなみに
一ノ瀬さんの今の話は
JA綱領を理念として
実践しているんだよ

【JA綱領】

わたしたちは

- 一、地域の農業を振興し、わが国の食と緑と水を守ろう。
- 一、環境・文化・福祉への貢献を通じて、安心して暮らせる豊かな地域社会を築こう。
- 一、JAへの積極的な参加と連帯によって、協同の成果を実現しよう。
- 一、自主・自立と民主的運営の基本に立ち、JAを健全に経営し信頼を高めよう。
- 一、協同の理念を学び実践を通じて、共に生きがいを追求めよう。